

アーバン・インフラ・テクノロジー推進会議

第36回 技術研究発表会 共通セッション

**まちづくりGXの実践
～多様な技術の導入と展開～**

2024年11月29日

3 × 3 Lab Future ROOM4

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議の目的

第3条(目的)

本会は、展示会や技術研究発表会等各種のコンベンションの開催を通じて、広くアーバン・インフラとアーバン・テクノロジーの開発を行っている民間企業とそれらの成果を都市づくりに活用する全国の自治体等に呼び掛け、より高度な都市基盤施設に関する啓蒙及びそれを支えるハード、ソフトの新しい技術の開発促進並びにその成果の都市づくりへの普及・活用を図り、高度で豊かな都市社会の実現に寄与することを目的とする。

2024年の共通セッションのテーマ

第36回技術研究発表会のテーマ：

GXで実現する持続可能で魅力的なまちづくり



<共通セッションテーマ>

「まちづくりGXの実践 ～多様な技術の導入と展開～」

大都市と地方都市の双方を対象とし、まちづくりGXの取組みを紹介頂くことで、まちづくりGXに有効な技術とその期待効果、さらに持続可能な都市実装に向けた関係者の役割分担や合意形成手法、及び事業化手法について議論します。

2024年の共通セッションの発表論文

No.	所属／氏名	タイトル
E01	一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 津田 将輝 氏	都心部に求められる緑豊かな屋外空間の在り方の検証 ～グリーンインフラが熱的快適性及び就業時の生産性に与える影響の調査～
E02	独立行政法人都市再生機構 桑波田 圭子氏・坂口 次郎氏	うめきた公園におけるグリーンインフラに関する事前調査の考察
E03	東日本旅客鉄道株式会社 松本 将卓氏 株式会社えきまちエナジークリエイト 高澤 佑太 氏	ゼロカーボンでサステナブルな環境先導まちづくり ～TAKANAWA GATEWAY CITYにおける環境・エネルギー技術の導入～
E04	静岡市 宮村 富士子氏	あさはた緑地の挑戦 ～みんなでつくる「あさはた緑地」の未来～

共通セッションのプログラム

時間	内容
60分	論文発表（4編、発表12分、質疑3分）
40分	共通セッション ①「まちづくりGXの実現に向けた取組」(国土交通省・田中成興 氏) ・ 関連テーマに基づき国土交通省より取組み紹介 ②GXに向けた技術を取り入れるにあたっての課題と対応策 ・ GX技術実装の課題と対応策について、取組に至った背景やニーズを踏まえ、意見交換 ③まちづくりGXを持続的に実現するための官民の協働体制 ・ 大都市と地方都市での持続可能なGXの取組み方について、関係者の役割分担や合意形成手法、事業化手法について意見交換 ④まちづくりGXの展開についての意見交換 ・ 今回の取組みを、今後どのように展開させていきたいか、そのために必要な制度や支援について意見交換
10分	会場からの質疑応答
5分	まとめ